栗原の稲作通信

令和5年 第5号 令和5年7月3日発行

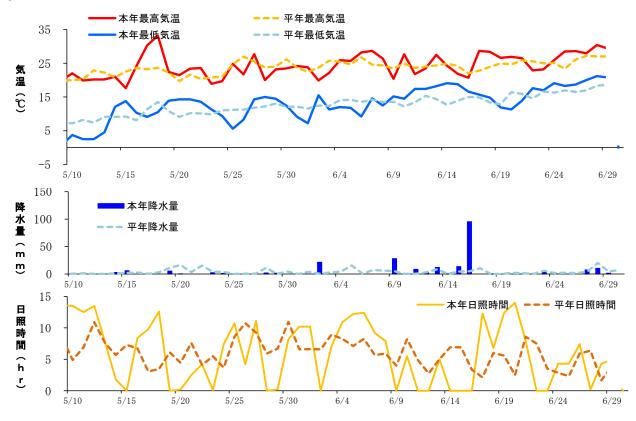
宮城県栗原農業改良普及センター 宮城県米づくり推進栗原地方本部 電話番号 0228-22-9404

品種や生育に合わせた追肥を行いましょう。

斑点米カメムシ類の本田への侵入を防ぐため、水田畦畔の草刈りは出穂 10 日前までに終わらせましょう(管内の平年の出穂期 8月2日(過去5か年平均))。

気象経過(アメダス築館)

•6月中旬は平年と比べ、気温は高く経過し、降水量は6月16日の大雨により、多くなりました。日照時間は少なく経過しました。6月下旬は平年と比べ、気温は高く経過し、降水量と日照時間は少なくなりました。



*点線の平年値は過去5か年平均

東北地方1か月予報(期間:07/01~07/30) ※令和5年06月29日仙台管区気象台発表抜粋

予報のポイント

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半はかなり高くなる見込みです。

予想される向こう1か月の天候(東北太平洋側)

平均気温:高い見込み低10 並40 高50%降水量:ほぼ平年並の見込み少30 並30 多40%日照時間:ほぼ平年並の見込み少30 並40 多30%

生育経過(6月30日現在)

- ■生育調査ほ(移植)
- ・生育調査ほ(ひとめぼれ)は、平年と比べ、草丈は平年並、葉数はやや少なく、葉色は淡くなっています。茎数も平年と比べ少なくなっていますが、ひとめぼれ移植栽培の生育量の目安(7月10日頃((穂形成期)470~530本/㎡)の範囲内となっています。

表1 生育調査は調査結果(6月30日現在)

			田植日	Ī	草丈(cm)	茎	数(本/r	ที่)	ţ	葉数(枚))	菜	色(GM	直)
品 種	地区	₹	本年	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
					(%)	(%)		(%)	(%)		(枚)	(枚)			
ひとめぼれ	築館	北部平坦	5/5	60.8	112	108	502	77	81	10.4	-0.1	0.0	39.6	-3.1	-0.9
ひとめぼれ	若柳	北部平坦	5/21	49.3	85	94	557	78	80	9.6	0.3	-0.2	40.2	-4.6	-4.4
ひとめぼれ	一迫	西部丘陵	5/12	53.5	110	-	469	130	-	10.6	0.4	-	40.9	-4.0	-
ひとめぼれ	管内平	均	5/12	54.5	102	-	510	88	-	10.2	0.2	-	40.2	-3.9	-
つや姫	築館	北部平坦	5/18	51.4	111	112	491	168	119	8.7	-1.2	-1.0	43.5	-2.6	-4.6
だて正夢	築館	北部平坦	5/14	61.1	111	-	497	130	-	9.5	-0.1	-	40.4	-5.9	-
金のいぶき	一迫	北部平坦	5/5	55.6	102	-	561	138	-	9.8	-0.6	-	42.1	1.3	-
萌えみのり	金成	北部平坦	5/8	60.5	128	118	378	147	79	9.0	0.0	-1.0	46.5	-2.6	-2.0

注1: 表中の平年比・平年差は、過去5年間の平均値を基に算出。

注2:一迫ひとめぼれ、だて正夢は、令和2年に調査農家を変更したため、平年比・平年差はありません。

注3:一迫金のいぶきは令和3年6月20日調査から開始のため、平年比・平年差はありません。

注4:ひとめぼれ管内平均は築館、若柳、一迫3か所の平均値。

■直播展示は(志波姫の乾田直播ひとめぼれ)

生育は概ね順調に経過しています。

表2 直播普及展示ほ調査結果(7月1日現在)

		播種日	草丈(cm)		茎数(本/㎡)		葉数(枚)		葉色(GM値)	
品 種	地区	本年	本年	前年比 (%)	本年	前年比 (%)	本年	前年差	本年	前年差
ひとめぼれ	志波姫	4月13日	42	114	467	153	7.3	-0.5	35.3	-4.4

注:直播栽培展示ほは、令和3年の調査開始のため、平年比・平年差はありません。

今後の管理

■水管理

- 中干しの期間は7~10日間とし、遅くとも幼穂形成期(ひとめぼれで7月第2半旬頃)の前には終了しましょう。
- ・中干しは、土の表面に軽くひびが入る程度を目安に、幼穂形成期までに終了しましょう。 鉄コーティング湛水直播では、倒伏軽減のため強めに中干しを行いましょう。
- ・金のいぶきは、根が傷みやすいので強い中干しは避けましょう。
- 中干し直後は走り水程度として、徐々に湛水状態に戻しましょう。その後は間断かん水を基本とします。
- ・幼穂形成期(幼穂長1~2 mm)から減数分裂期(幼穂長3~12 cm)にかけて、最低気温が17℃以下の日が続く場合は深水管理を行い、幼穂を保護しましょう。

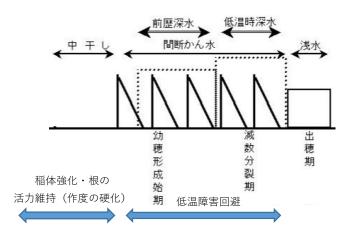


図 中干しまでの水管理

■追肥

- ・ 幼穂長、生育量を把握して、品種毎に適期に適量の追肥を行いましょう。
- 有機入り肥料を追肥に使う場合は、肥効が現れるまで時間がかかるので、早めに施用しましょう。
- 一発型肥料を基肥に使用した場合は、基本的に追肥を控えましょう。

表3 追肥時期の生育量と追肥量の目安

*生育量の範囲内~下回る場合に追肥が可能です

		幼穂形成其	月(幼穂長1~2			減数分裂期(幼穂長3~12cm)				
8	種	茎数 (本/㎡)	葉色 (葉緑素計)	追肥量 (窒素成分) (/10a)		茎数 (本/㎡)	葉色(葉緑素計)	追肥量 (窒素成分) (/10a)		
0 00	かぼれ	470~530	38~40	1 kg		450~500	35~37	1 kg		
ササニ	ニシキ	720~760	34~36	(しない)		550~580	32~34	1~1.5kg		
つ ヤ	や姫	550~580	35~37	2kg		_	_	(しない)		

★だて正夢の追肥量(窒素成分量/10 a)

- ・基本は「減数分裂期2 kg」
- ・茎数が不足する場合は、 「幼穂形成期1 kg + 減数分裂期1 kg」
- だて正夢は、ひとめぼれ等の他品種より茎数が 少なく、葉色が濃くなる傾向にあります。生育量が表の目安を超えている場合を除いて、 基本的に追肥を行いましょう。

表4 だて正夢の生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期			
草丈(cm)	64~70	76~82			
茎数(本/㎡)	390~460	380~420			
葉色(葉緑素計)	40~42	37~39			

★金のいぶきの追肥量(窒素成分量/10a)

- •基本は「幼穂形成期1 kg + 減数分裂期1 kg」
- ・金のいぶきの葉色は、ひとめぼれと比較して淡く 推移し、幼穂形成期から減数分裂期にかけて、 著しく低下します。安定した収量を確保するため に、追肥を実施しましょう。

表5 金のいぶきの生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈(cm)	65~70	80~85
茎数(本/㎡)	570~620	490~540
葉色(葉緑素計)	33~35	30~32

- ■病害虫防除(発生予報第5号(宮城県病害虫防除所6/26発行))
- ~葉いもち、イナゴ類の発生に注意しましょう~ ~草刈りを出穂10日前までに終えましょう~
- *発生量および発生時期は、発生予報第5号(宮城県病害虫防除所6/26発行)に基づいています。
- ▶葉いもち……発生量「平年並」

発生時期(発生開始期)「7月第1半旬(7/1~7/5)平年並」の予報

- 本田でのいもち病の発生源となるため、「残った苗」は速やかに除去し、裏返す等、適正に処分しましょう! ほ場を入念に見回り、葉いもちの病斑を確認したら直ちに防除しましょう!
- 特に、萌えみのり、金のいぶきなどのいもち病に弱い品種や、予防防除を行っていない直播栽培などでは注意しましょう。
- 葉いもちが確認された場合は防除しましょう。特に、穂いもちの伝染源となる上位葉での感染には注意が必要です。

▶イナゴ類 (コバネイナゴ)

- ・・・・・・発生量「やや少」、発生時期(本田侵入盛期)「7月第2半旬(7/6~7/10)平年並」の予報
- ・齢が進んだ個体には薬剤の効果が低下するので、中齢幼虫(体調1.5 cm程度)までに散布しましょう。
- ■病害虫防除(注意が必要な病害虫)
- ▶紋枯病
- ・要防除水準を超えた場合は、穂ばらみ期から穂揃期に防除を行いましょう。

要防除水準:穂ばらみ期の発病株率 ひとめぼれ18%

• 高温多湿で発生しやすく、前年多発したほ場では、注意が必要です。

▶稲こうじ病

- ・穂ばらみ期に低温で降雨日数が多いと発生しやすくなります。
- ・銅剤による防除適期は、出穂10~20日前です。
- ▶斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ)
- ・ 畦畔の草刈りや牧草の刈取りは、出穂の10日前(遅くとも7月25日頃)までには終わらせましょう。 出穂直前の草刈りは、斑点米カメムシを水田に追い込むことになるので避けましょう。
- 薬剤防除は「穂揃期+その7~10日後」の2回防除が基本です。 イヌホタルイが発生している水田では、1回目の薬剤散布時期を「出穂始~穂揃期」に早めることで、 高い防除効果が得られます。

■農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日~8月31日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限等を確認して、定められた方法を厳守しましょう。

最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)のホームページ (http://www.acis.famic.go.jp/) で確認することができます。